

年功序列からジョブ型雇用を実現する為に何をすべきか？

～製造業のための新しい目標管理の仕組～

◇経営者、経営幹部、人事責任者向け◇

これまでも、雇用制度改革は幾度となく取りざたされてきましたが、このコロナ禍により、さらにその必要性が高まっています。テレワークで露呈したのは、負担や評価の不公平、責任のあいまいさといった問題等々…身をもって実感された方も多かったのではないのでしょうか。

そこでこれからの雇用形態として注目されているのが、伝統的な「メンバーシップ型」雇用から欧米流の「ジョブ型」雇用への移行です。しかし、内部労働市場で細分化された仕事を長期にわたって保障できる一部大企業はともかく、中小企業にとっては、いわゆる「ジョブ型」雇用はリスクが大きすぎて、浸透しづらいといわれています。

そこで、製造業向けに「日本型ジョブ型雇用」を導入・浸透させるためポイントを3部構成でお話させていただきます。

また、このセミナーではジョブ型雇用をサポートするITツールをご紹介します。情報収集に是非、ご活用ください！！

日時 2020年10月7日（水）15:00-17:00 ※14:40より入室可能
場所 オンライン

◇プログラム◇

【第一部】 製造業におけるジョブ型移行のためのファーストステップ（時間・生産性管理）

- これまでの製造業の働き方とこれからの製造業の働き方
- 日本に合うジョブ型・中小企業に合うジョブ型とは
- One to One の生産性をみれていますか？

【第二部】 生産性管理の先の経営への更なる活用

- 高生産性の実現には KPI による業務の細分化が必須
- 経営の見える化による、業績改善手法

【第三部】 仕組みを浸透させるための人材管理・モチベーション管理

- 組織において継続が難しい理由
- 製造業においての特徴
- 目標管理ツール「あしたのクラウド」のご紹介

◇登壇者◇

株式会社あしたのチーム マネージャー 森 良雅

前職の人材紹介事業では、3000 人以上の人材紹介に従事。あしたのチーム社員数 30 名の時に入社。100 社以上の人事評価制度構築に携わる。

ヒトモノカネのヒトに特化したキャリアを積む。キャリアコンサルタント資格保有者。



=====

御堂筋税理士法人 IT ソリューション部 リーダー ITアーキテクト 高原 直樹

大学卒業後、大手 Sier・通販小売企業にて 15 年システム開発・運用業務、システム導入支援業務に従事。グループウェア、ワークフロー、顧客管理といったバックオフィスツール導入から、基幹システム再構築、クラウドサービス導入といった大規模な案件でのプロジェクト支援、また業務改善支援などに従事。御堂筋税理士法人では、IT 専門家が不足している中小企業向けに、システム領域でのトータルソリューションサービスを提供。



=====

御堂筋税理士法人 税理士 隣 友也

大学卒業後、大手信用金庫に就職。融資渉外として中小企業融資を現場で7年経験。

そこで、「会計事務所こそ中小企業支援をすべき」という思いから、会計事務所業界に転職。

税理士法人で中小企業担当として、税務会計のみならず経営改善計画の策定、金融機関対応などを5年経験。

御堂筋税理士法人では「良い会社にするための効果的会議」「事例から学ぶSDGs型経営計画」などのセミナー講師を務める。



=====